



オルガノ総合研究所

かけがえのない地球の 未来のために

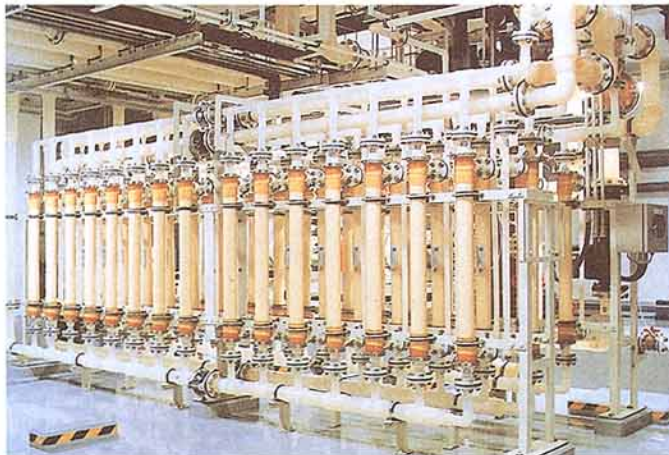
人と人とのふれあい、人と環境との調和を 大切にする水のプロフェッショナル

私たち人間の生命の根源である“水”に取り組み、さまざまな水処理技術や環境保全技術を提供するオルガノ。創業時より水とともに歩み、水を活かす技術を育む同社は、“エコロジカル・クリーン”を企業コンセプトに、トータルな視野から水、そして地球をみつめ、豊かで快適な環境づくりをめざしている。

キーテクノロジーの研究開発センター 「総合研究所」

1946年創業の同社は、翌47年の脱塩水装置の完成を皮切りに、無熱蒸留水製造装置、一般上工水あるいは特殊液の製造装置、排水処理技術の開発と、次々に新しい技術を開発。その技術は、火力・原子力発電、半導体・エレクトロニクス、プラントエンジニアリング、バイオテクノロジー支援技術、小型水処理機器、薬品、健康食品の開発へと広がっている。また、イオン交換樹脂・高機能膜・活性炭は、素材開発から生産のシステム化までを一貫して行っており、“きれいな水”“有用な水”を生み出すプロセスに大きく寄与している。

こうした時代を先取りした技術開発や商品開発の推進力となっているのが同社の総合研究所で、最新の設備と諸機器を備えた研究棟や、実用化のための大型パイロットプラント棟では、120名の所員が水との新たな出会いを求めて研究に励んでいる。



半導体用超純水装置



汚泥油化
実証プラント



研究所紹介

オルガノ総合研究所

オルガノ株式会社

限りなくH₂Oに近い水、超純水

産業から暮らしまで、さまざまな分野で活用され、高い評価を得ている同社の技術。そのひとつに、高度に精製された超純水がある。これは、イオンや0.1ミクロン以下という超微粒子までもとり除いた、限りなくH₂Oに近い水で、エレクトロニクスの心臓部である半導体の製造には不可欠なもの。同社では、逆浸透法、限外ろ過法、イオン交換法などを用いた高度な水処理技術を駆使して超純水を供給、ますます高精度化するエレクトロニクスのニーズに応えている。

水の質を高める技術、そして 使った水を自然に還すための技術

私たちの暮らしや産業に不可欠な水。その排水処理は、環境保護の上から非常に重要なものとなっている。早くからこうした環境保全技術の開発を手がける同社では、安全でしかも二次汚染の心配がない「地下水の有機塩素化合物除去設備」、汚泥を重油に変換する「下水汚泥油化処理システム」などを開発して、時代の要請に対応。また、現在厚生省と共同で進めている「膜利用型新浄水システム・MA C 21計画」も大きな成果をみせ、1～2年後には実用化の予定。これが実現すれば、薬品を使用せず、しかも高速、高性能、省スペースという、まったく新しいタイプの浄水プロセスが誕生する。



有機塩素化合物除去装置アクアストリーム

オルガノ株式会社総合研究所

〒355 埼玉県戸田市川岸1-4-9 Tel(048)446-1881

●研究所の概要

- ・設立年月 昭和61年
- ・敷地面積 5,860㎡
- ・建物面積 6,783㎡
- ・研究所員 120名

研究所のお問い合わせは…TEL(048)446-1881